

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	非常・災害時に備えた消防避難訓練も、年2回昼間また夜間を想定しての火災避難訓練に留まっており、ホーム内の緊急連絡網がスムーズに活用できていない。また、年2回の実施において、非常ベル・警報機器の復旧作業に戸惑ってしまう。今後とも地域の方々の理解と協力が不可欠である。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の方々の理解が得られ、お互いに協力し合えるネットワークづくりを構築する。 ・ 法改正により義務化された火災報知器と通報装置の連動設備を整備する。 ・ 火災以外の非常災害を想定した訓練の考案とホーム内外の自主点検にも力を入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駐在所、地元消防団の方々以外に自治会長さんはじめ近隣住民の方々にも広く呼びかけ、避難訓練の見学や参加を通じて緊急時の理解・協力が得られるよう努める。 ・ 防災グッズや備蓄品等の定期的チェックをする。 ・ 火災報知器と通報装置の連動設備を早々に整備する。 ・ 災害を想定した訓練と避難経路やホーム内外の危険箇所のチェックをすると共に緊急連絡網がスムーズに活用できるよう訓練する。 	12ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。